

令和4年度が始まって約1ヶ月が過ぎました。今回の学校だよりでは生徒の皆さんの学校生活について紹介したいと思います。



8時頃より校門で生徒会役員や教職員、また野球部のみんなも参加して、「おはようございます」の挨拶活動で1日が始まります。生活委員の皆さんも定期的に挨拶活動に参加してくれます。本校ではブレザーの制服を採用しています。半袖や長袖、上着の着用は個人の判断で行うことになります。気温の変化の大きいこの時期、登校時の服装は写真のようにまちまちです。今年は4月の中頃からすでに半袖で登校する生徒も見られました。



8時30分からはスタートタイムが始まり、3年生は学習活動、1・2年生は読書に取り組んでいます。朝の会で担任から出欠、健康観察、連絡等を聞いた後、8時55分から1時間目がスタートします。授業は50分で午前中は4時間の授業が行われます。教科によって違いはありますが、以前からの黒板をメインに使って行われる授業や、色々な資料を活用したり、一人一台のタブレット端末を活用している授業などさまざまです。生徒の皆さんの様子ですが、ほとんどの生徒が積極的に授業に参加しています。またタブレットを使ったり、ノートに記入したりと忙しそうに見えました。マスクを着用しての学校生活はもう当たり前のものになりました。早くマスクがはずせるようになれば、と感じています。



4時間目が12時45分に終わります。ここから給食に入ります。当番の生徒を中心に準備、また片付けを全員で行います。香芝市の給食は「おいしい」ということですが、皆さんはどうでしょうか。給食後15分間、休憩があります。本校生徒は、この休憩時間にグラウンドで遊んでいる姿が多く見られます。リフレッシュの意味もあり、いい習慣だと思っています。



休憩の後、午後からは5、6時間目の授業、3時40分からは終わりの会になります。その後、清掃活動が行われます。以前は全校生徒で行っていましたが、今は当番制になっています。後は下校、部活動になります。1日の皆さんの様子ですが、以前は寝ている生徒もいたように思いますが、授業中の私語も含めて、黙々と勉強しているという印象です。もちろん実技教科は活発におこなわれています。いわゆる「メリハリ」があります。このような学校生活を送ることができているのは保護者の皆様の支えがあってこそだと感じています。

最後になりますが、私は中学校の保健体育の教員として教壇に立ち、本年度で教員生活34年目を迎えます。教員を目指していた頃、中学校は校内暴力、いわゆる「荒れ」の全盛期でした。初めて赴任した学校は、吉野郡天川村の洞川中学校で全校生徒は29名でした。次回から、これまでの教員生活で感じていることを少しだけ書いていきたいと思っています。

### 東風(こち)

春から夏にかけて吹く東よりの風。氷を解き、春を告げる風。この風のように、暖かで清々しい風が東中の隅々にまで吹き、どのクラスも思いやりと優しさのあふれる、心温まる関係を築いて欲しいこと、また、この便りによって保護者の皆様が学校のようなすを知り、少しでも安心していただけることを願う『東風』という名称を付けました。今後ともよろしくお願ひいたします。